

第 990 回教育委員会会議概要

1 日 時 平成 25 年 10 月 25 日（金）午後 1 時 30 分～

2 場 所 教育委員会室

3 出席者 清川委員長 川畑委員 吉井委員 小泉委員 西野委員 林教育長
国久企画幹 小和田企画幹（学校教育） 三田村企画幹（高校教育）
伊勢教育振興課長 松田学校教育政策課長 上野義務教育課長
山元生涯学習・文化財課長 宮前企画参事

4 議 題

日程第 1 第 20 号議案 平成 25 年 11 月 1 日付け人事異動について

日程第 2 第 21 号議案 平成 26 年度福井県立学校入学者募集定員について

日程第 3 第 22 号議案 平成 26 年度福井県立高等学校入学者選抜実施要項等の
制定について

日程第 4 第 23 号議案 平成 26 年度福井県立特別支援学校の幼稚部および高等
部の入学者選考実施要項の制定について

5 審議事項

（1）開会宣告

（2）会議録署名人の指名 吉井委員 小泉委員

（3）議事要録

委員長 日程第 1、第 20 号議案、日程第 2、第 21 号議案、日程第 3、第 22
号議案、日程第 4、第 23 号議案について、非公開としたい旨発議

—————当該議案を非公開と決定—————

委員長 日程第 1、第 20 号議案を議題

学校教育政策課長 資料に基づき説明

委員長 第 20 号議案について、原案に対する異議の有無を確認

—————原案どおり可決—————

委員長 日程第2、第21号議案を議題

企画幹（高校教育） 資料に基づき説明

委員長 全体的に定員が減少する中で、一部の高校が定員増となるのはどうしてか質問

教育長 福井地区、若狭地区で昨年度に比べて一時的だが卒業生が増える。その他の地区は減少する。各地区の増減と公立私立の比率等も考慮して決めている旨回答

委員長 第21号議案について、原案に対する異議の有無を確認

—————原案どおり可決—————

委員長 日程第3、第22号議案を議題

企画幹（高校教育） 資料に基づき説明

委員長 第22号議案について、原案に対する異議の有無を確認

—————原案どおり可決—————

委員長 日程第4、第23号議案を議題

企画幹（高校教育） 資料に基づき説明

委員長 特別支援学校の選考とはどのようなものか質問

企画幹（高校教育） 面接のみであり、学校でやっつけられるかどうか問題となる旨回答

委員長 第23号議案について、原案に対する異議の有無を確認

—————原案どおり可決—————

◎協議・報告事項

協議事項

(1) 学力向上センターおよび幼児教育支援センターのこれまでの成果と今後の展開について

委員長 授業名人のDVDを制作、配布したことによる成果について質問

企画幹（高校教育） 若手で、自分の授業をカメラで撮り、家に帰って振り返るといふこ

とをする者も出てきている。DVDをきっかけにベテランが若手を支えるような雰囲気も出てきている。何より若手が刺激を受けている旨回答

委員 幼児教育支援センターの出前講座の嶺南地区での実施回数を質問

義務教育課長 巡回訪問70回のうち、10回程度行っている旨回答

委員長 今年から行っている、百人一首を題材にした授業の状況について質問

義務教育課長 今年から県下全校で行っているが、朝の会や総合的な学習の時間、昼休みなどで、自然になじめるように実施している旨回答

(2) 白川文字学の推進について

委員 応募者は県外の方が思ったより多く驚いている旨発言

生涯学習・文化財課長 各県で漢字教育が盛んなところがあり、特徴的な教育を行っているところも多い。今回の募集で、白川文字学が他県でもかなり多く実践されていることに気付かされた旨回答

委員 全国へのPRの方法について質問

生涯学習・文化財課長 日本教育新聞等に掲載を依頼した旨回答

報告事項

(1) 坂井高等学校の校章デザイン募集について

委員長 公募の方法について質問

企画幹（高校教育） ホームページ掲載や学校、保護者への応募用紙の配布を行う旨回答

委員長 本日の会議の終了を宣告